

研修報告

№85 介護職員等によるたんの吸引等研修事業

指導者講習会フォローアップ研修

【研修日時】平成31年2月6日（水）10：00～16：30

【受講者数】28名

【講師名】池田理沙(神戸市立医療センター中央市民病院)、矢吹浩子(医療法人明和病院)、
新村裕子(兵庫県看護協会)

ファシリテーター：蔵澤恵美、大坪加奈(社会福祉法人芳友にこここハウス医療福祉センター)、
中村文恵(元兵庫県看護協会)、木村幸子、新村裕子(兵庫県看護協会)

【研修内容概略】

- ・ねらい：最新の喀痰吸引、経管栄養の知識を得ることにより、介護職員のケアの質の向上につながるることができる。また、実地研修の指導を振り返り、より良い指導ができるために指導者としての課題を明確にし、解決方法を検討する
- ・より良い実地指導をしていくためにワールドカフェを実施し、自施設での現状と課題の情報交換し、他施設での取り組みについての情報を得ることができた。
- ・喀痰吸引と経管栄養についての最新の情報を講義で学習した。

【受講者の声】

- ・他施設の人も同様の課題を抱えていたことを知り、情報共有ができた。

- ・ 知りたいことを理解でき良かった。今後活用していきたい。
- ・ 様々な疑問を講義、グループワークで解決でき良かった。
- ・ 吸引の技術にとらわれすぎて、介護職員のケアの質向上という目的を忘れていた。心して介護職員に接していきたい。
- ・ 他施設の取り組みを知ってとても役に立った。

